

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<42週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱が例年に比べかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第42週の報告患者総数は82



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 Veroto毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / ヘルパンギーナ / 無菌性髄膜炎 / 他



速報  
P.6-7

エンテロウイルス71型の流行 - 滋賀県 / 他



海外感染症情報  
P.8-9

ポリオ根絶宣言 西太平洋地域 / 西ナイルウイルス感染症の流行 - イスラエル / 他



感染症の話  
P.10-13

Bウイルス病  
ニホンザルなどのマカク属サルを自然宿主とし、サルとの直接的接触やヒトからヒトへの感染例もある



読者のコーナー  
P.14



グラフ総覧(42週)  
P.15-21



42週のデータ  
P.22-29



# 発生動向総覧

第42週コメント 10月26日集計分

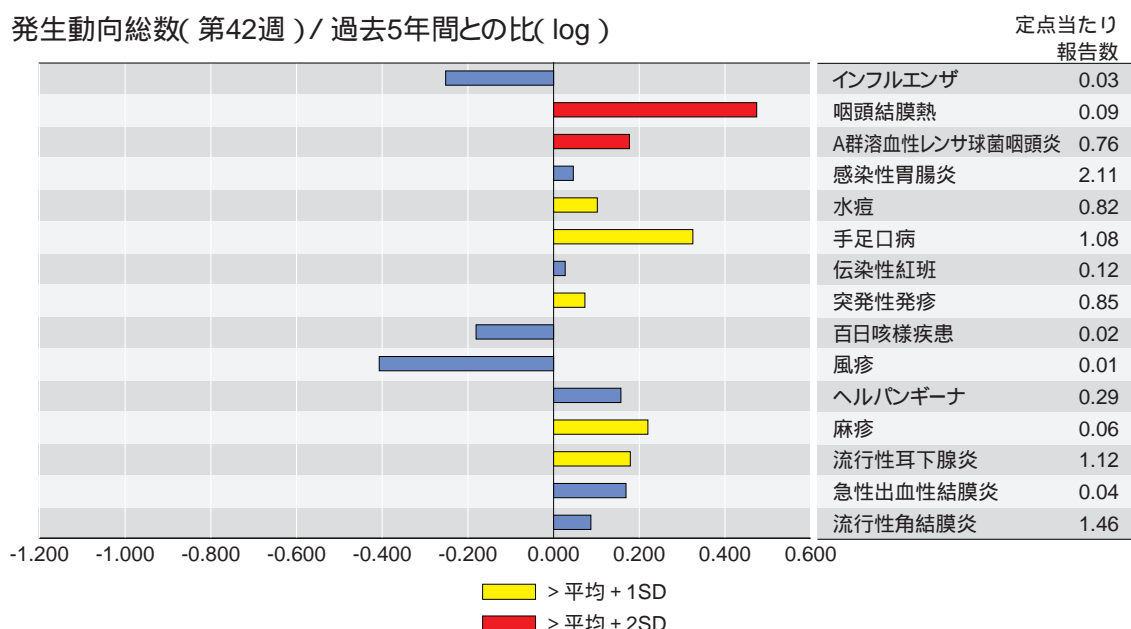
## 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ2例( 推定感染地: インドネシア )  
 細菌性赤痢33例( 推定感染地: 国内26例、インドネシア4例、タイ、ペルー、タイ・インド・ネパール各1例 )国内26例のうち24例が愛媛県内の寿司店食中毒事例に関連している。インドネシア4例は同一ツアー内の発症であるが、他のツアー客には感染がないことが確認されている。  
 腸チフス1例( 推定感染地: インドネシア )
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症82例
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、ツツガムシ病6例、レジオネラ症1例、  
 急性ウイルス性肝炎7例 A型1例  
 B型5例\_\_感染経路不明4例、性行為感染1例  
 C型1例\_\_感染経路不明  
 後天性免疫不全症候群5例( 無症候性キャリア3例、AIDS1例、その他1例 )  
 感染経路\_\_不明2例、性行為感染3例うち異性間2例、同性間1例 )  
 梅毒5例( 早期顕性3例、晩期顕性0例、無症状1例、先天性梅毒0例、不明1例 )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。また、水痘、手足口病、麻疹、流行性耳下腺炎などの定点当たり報告数も例年より多くなっている。流行性角結膜炎は茨城県と長崎県で定点当たり3.8、福岡県で3.7と多くなっている( 手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の病原体については5ページ病原体情報参照 )。

発生動向総数( 第42週 ) / 過去5年間との比( log )

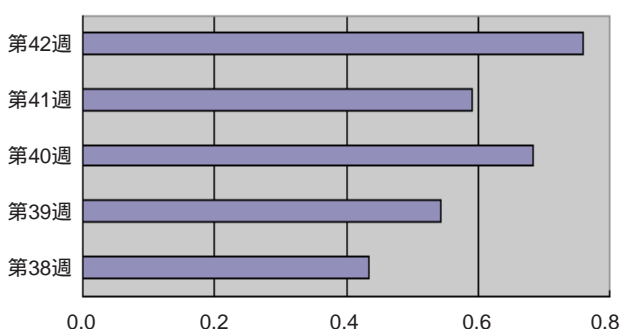


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

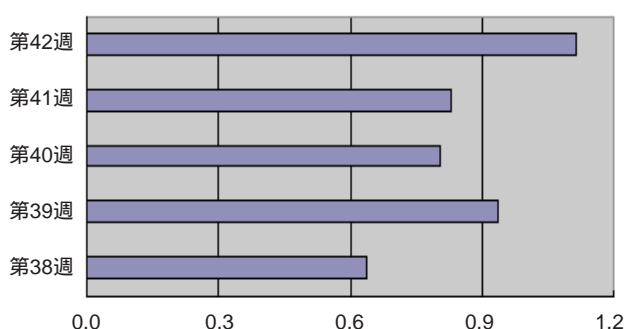
## 最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週より定点当たり報告数が増加し、ここ5週では全体として増加傾向にある。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数も前週より増加した。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週よりやや多くなっている。手足口病は4週続けて定点当たり報告数が減少した。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、わずかに増加傾向を示している。まとまった報告のある都道府県でも、報告例からのウイルス分離や、迅速診断キットによるインフルエンザ感染の確認の情報は得られていない。

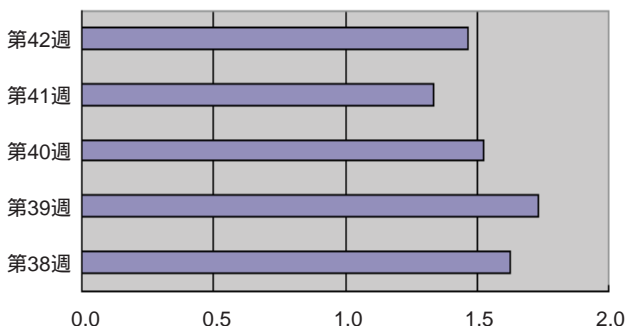
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



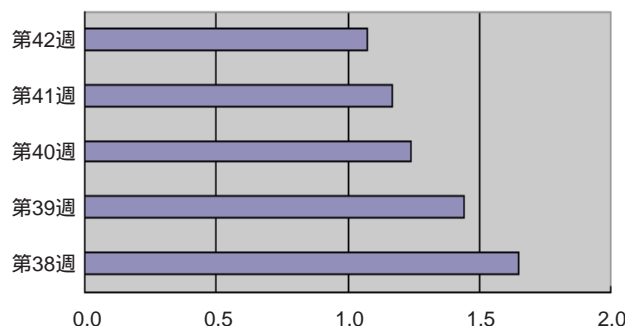
流行性耳下腺炎



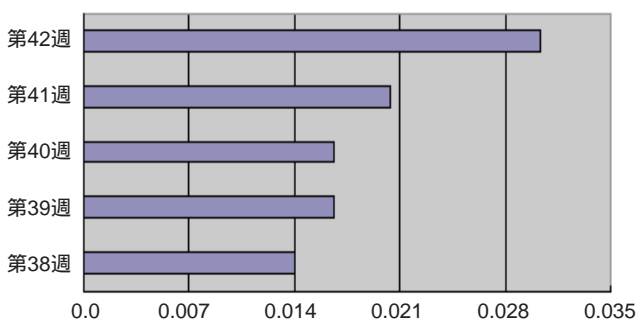
流行性角結膜炎



手足口病



インフルエンザ



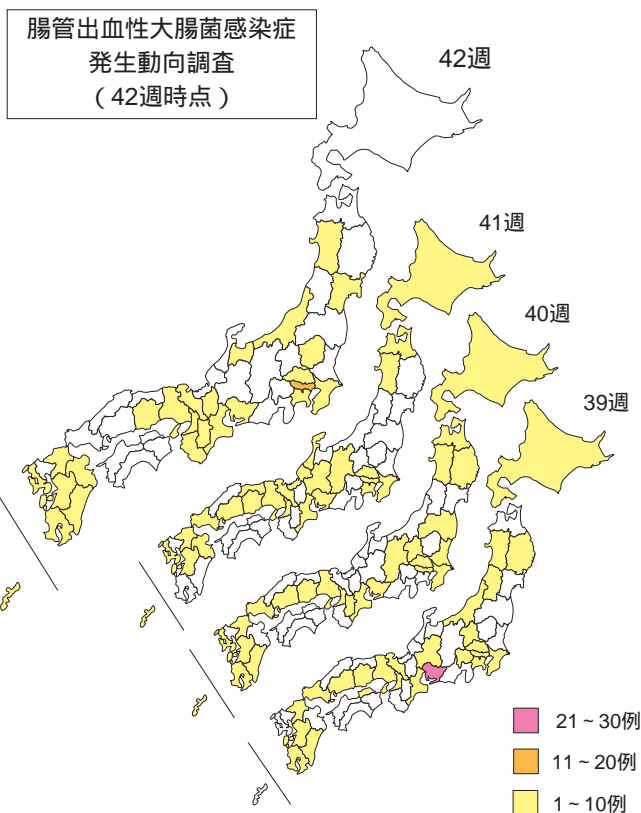
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



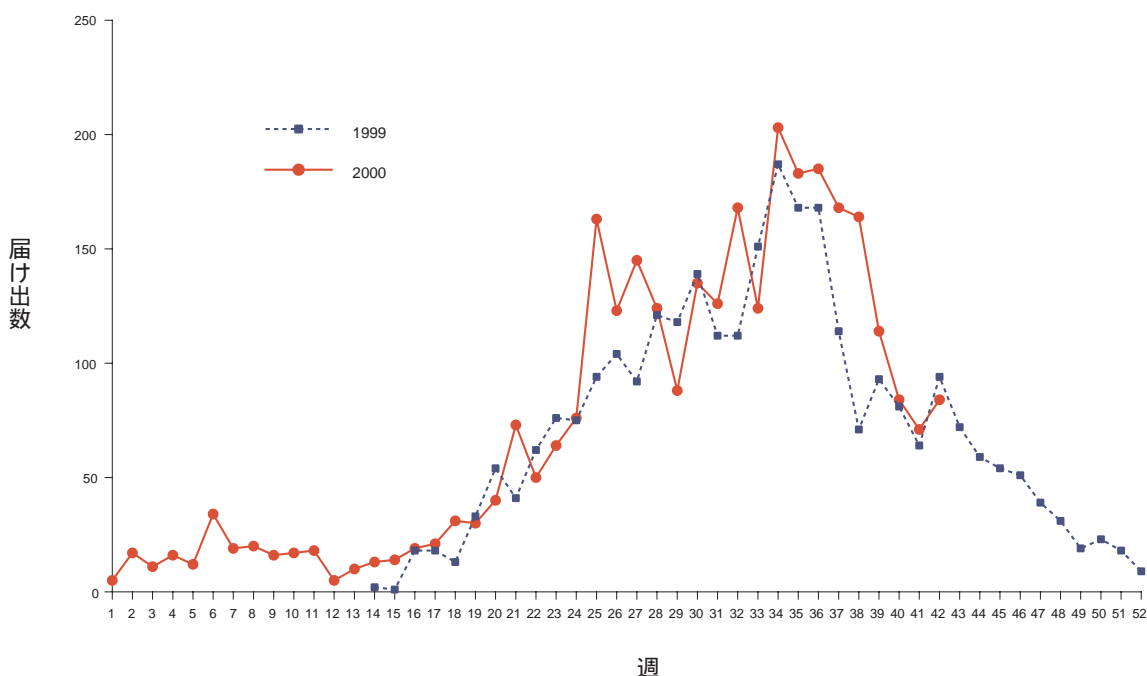
# 注目すべき感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第42週( 10月16日 ~ 10月22日 )の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数( 無症状病原体保有者含む )は82であった( Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、5ページ病原体情報参照 )。2000年第1週からの累積患者報告数は3,077となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。



腸管出血性大腸菌感染症( 無症状保菌者含む )届出状況 2000年第42週





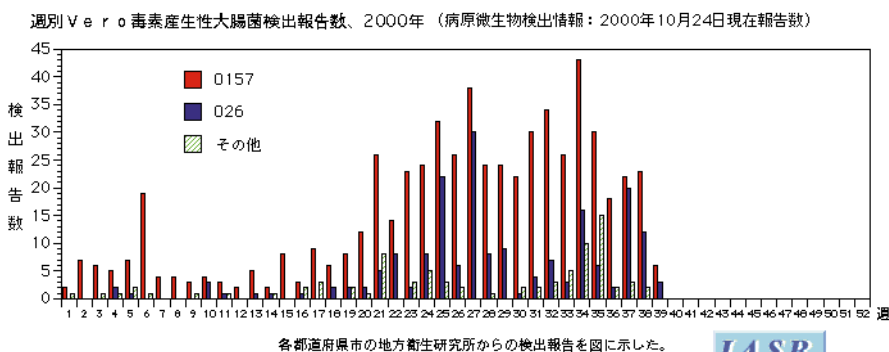
## 病原体情報

( 2000年10月27日現在報告分 )

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.gov/iasr/index-j.html> )からの引用です。

### ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26

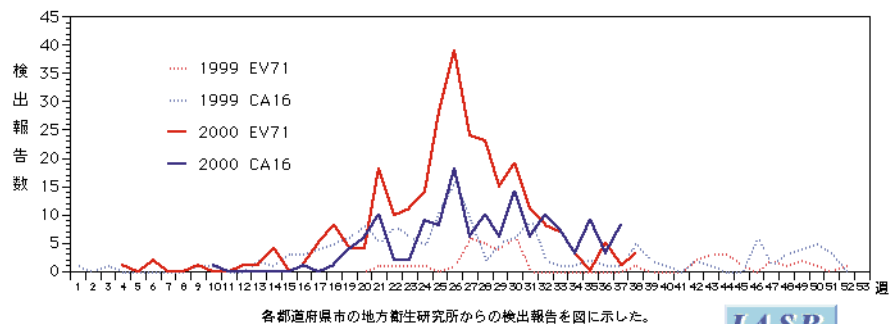
本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が615件、O26が192件である。第38週以降、O157は福岡市8、大阪府5、京都市4、岐阜県3、札幌市、山梨県、愛媛県各2、横須賀市、川崎市、長崎市各1の報告であり、O26は福岡市12、大阪府3の報告である。



### 手足口病患者から分離されたウイルス

エンテロウイルス71型( EV71 )の分離は211件報告され、熊本県( 35 )、愛媛県( 33 )、神奈川県( 25 )、愛知県( 14 )からの報告が多い。コクサッキーウイルスA16型( CA16 )は138件、CA10は27件の報告である。第36 ~ 38週に山形県と岩手県ではEV71とCA16の両者が分離されている。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、年別比較 (1999年、2000年)  
(病原微生物検出情報: 2000年10月24日現在報告数)



### ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス

A群コクサッキーウイルス( CA )183件( 10型66、4型49、6型37、2型15、5型7、9型4、8型2、3型1、7型1、16型1 )の分離が報告されている。

### 無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス

エコーウイルス( E )168件( 25型46、9型42、3型21、11型20、30型14、6型13、18型6、21型3、17型2、4型1 )、B群コクサッキーウイルス( CB )84件( 3型25、5型23、4型17、1型14、2型3、6型2 )、エンテロウイルス71型( EV71 )43件、ムンプスウイルス32件、CA16件( 9型7、10型6、2型1、4型1、16型1 )の分離が報告されている。

### 咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

アデノウイルス( Ad )115件( 3型60、2型27、1型18、5型3、4型2、6型2、7型2、19型1 )の分離が報告されている。

### 流行性角結膜炎から分離されたウイルス

アデノウイルス47件( 3型11、4型9、8型8、37型7、11型4、19型3、2型2、1型1、6型1、7型1 )の分離が報告されている。



## エンテロウイルス71型の流行 - 滋賀県

滋賀県では、1997年にエンテロウイルス71型( EV71 )による手足口病( HFMD )および無菌性髄膜炎( AM )の流行が観察されたが、その後EV71の流行はなく、1999年秋に、AMを伴ったHFMD患者2名から、2年ぶりに分離された。2000年に入って、EV71は5月に1名から分離されたのち、8月までに計12名から分離された。これらEV71が分離された患者の症状/臨床診断は、HFMDのみで経過したものが3名、HFMDにAMを併発したものが6名、HFMDに脳炎を併発したものが1名であった。さらにHFMDの診断はないが、発疹を認めAMを併発したものが1名、症状不明が1名であった。脳炎を併発した事例は特別な既往歴はなく、発達、発育は順調であった8カ月女児で、発熱・口腔内の発疹による発病から4日目に亡くなった。臨床診断はEV71による脳幹脳炎および神経性肺水腫であった。EV71が分離された患者の年齢分布は0歳～10歳までであったが、4歳が4名と多かった。

ウイルス分離には咽頭ぬぐい液、髄液、糞便を用いたが、EV71が分離されたのは、糞便が1件あったほかは、すべて咽頭ぬぐい液で、髄液からは分離されなかった。ウイルスの培養には、FL、HeLa、RD-18S、Veroの各培養細胞を用いているが、EV71はすべてFL細胞で分離された。型別は感染研から分与された抗血清( BrCr )を用い、中和反応で同定された。

滋賀県では、今シーズンHFMD患者からコクサッキーウイルスA16型( CA16 )およびEV71の2種類が分離されているが、CA16は県北部で4株分離されたのみであった。従って、滋賀県のHFMDの流行は、主としてEV71によるものであったと考えられる。

滋賀県立衛生環境センター 横田陽子 大内好美 吉田智子 辻 元宏  
滋賀県草津保健所 尾本由美子 古池孝之 前田博明

( IASR10月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.10, 2000 P.9-10 )

## 病院および併設の介護老人保健施設における腸管出血性大腸菌O157:H7感染症の集団発生 - 神奈川県

2000年6月中旬～下旬にかけて、神奈川県藤野町のF病院および併設の介護老人保健施設( N施設 )において、腸管出血性大腸菌( O157:H7 )感染症の集団発生がみられた。

発生の探知は、2000年6月16日、藤野町に隣接する神奈川県津久井町のM病院医師から管轄の保健所に対して、血便等の症状でN施設から転院してきた80歳の女性患者便からO157( VT2陽性 )が分離された旨の届け出を受けたことであった。M病院には同様の有症者は認められなかったが、女性患者が発症したN施設および併設のF病院に同様の症状を呈する複数の患者が確認され、O157感染症集団発生の疑いとして調査が開始された。

F病院関係650名( 入院患者367名、職員283名うち給食従事者31名 )、N施設関係154名( 入所者73名、通所者36名、職員45名 )、計804名について健康状況を調査した結果、有症者( 血便・下痢便3回以上/日・腹痛・発熱・嘔吐の症状が1つ以上あった者 )は56名( F病院の入院患者46

名、職員2名、N施設の入所者6名、通所者2名)で、重症者が6名認められた。重症者のうち4名は回復したが、基礎疾患の悪化が原因と思われる85歳男性、および溶血性尿毒症症候群( HUS )を発症した84歳女性の2名( F病院入院患者 )が死亡した。有症者の発症日は6月13 ~ 21日の9日間で、日別発症者数では15日( 13名 )と19日( 10名 )に小さなピークがみられた。健康調査を実施したのと同じ804名について検便を実施したところ、有症者56名中17名( F病院の入院患者15名、N施設の入所者2名 )、無症状者748名中70名( F病院の入院患者53名、職員9名、N施設の入所者8名 )、合計87名の糞便からO157:H7( VT2陽性 )が分離された。F病院およびN施設の周辺地域にO157感染症の発生は認められなかったことから、院内または施設内の何らかの同一感染源に起因した集団発生である疑いが強く持たれた。

F病院およびN施設の給食は、患者食および職員食ともにF病院の給食施設で調理されており、調理食数の約8割が患者食、約2割が職員食でその献立は異なる。

感染源である可能性が考えられた食品等( 6月1 ~ 25日の保存食 )289検体、飲料水等( 専用水道水、源水、解熱用水等 )35検体、浴槽水等( 温泉浴槽水、排水等 )63検体、合計387検体についてO157の分離培養検査を行った結果、F病院で6月25日に採取した雑排水1検体からO157:H7( VT2陽性 )が分離されたが、他の検体はすべて陰性であった。また、F病院の給食従事者31名の検便結果もすべて陰性であった。しかしながら、検便でO157:H7( VT2陽性 )が分離された87名のうち、78名は患者食を喫食していたF病院入院患者またはN施設入所者であったのに対し、職員は9名と少数であった。しかもこの職員のうち2名は患者食の検食を担当していた。このことから、患者食として出されたある種の食品が感染源であった可能性が考えられ、患者食を喫食しなかった職員の発症は、入院患者等の感染者と接触したことによる二次感染と思われる。本集団事例では流行に2峰性がみられたが、発症者数の2つ目のピーク以降の症例には二次感染例の混在が疑われた。

F病院入院患者、N施設入所者およびF病院の排水から分離されたO157:H7について、パルスフィールド・ゲル電気泳動法によるDNAの異同を解析した結果、いずれも同一株と思われた。本事例では流行初期の段階から、F病院およびN施設に対して共通の病因物質の暴露が考えられたが、共通喫食食品等からO157が分離できなかったため、感染源および感染経路の特定には至らなかった。

神奈川県衛生研究所細菌病理部

( IASR10月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.10, 2000 P.10-11 )



## 海外感染症情報

### ポリオ根絶宣言 西太平洋地域

WHO/Western Pacific Region 2000年10月29日

10月29日、西太平洋のポリオ根絶に関する京都会議において、西太平洋地域の公衆衛生史上、転換点となる出来事が記録された。西太平洋地域でのポリオ根絶に対する努力によって、土着の野生ポリオウイルスの伝播が止まり、ポリオがない地域と証明された。

西太平洋地区での最後の土着の野生ポリオウイルスによるポリオ患者は、1997年3月にカンボジアで見つかった15カ月の少女であった。1999年10月に中国で報告されたポリオ患者は、インドまたはミャンマーからの輸入株による感染と考えられており、今回の根絶宣言には影響を与えなかった。

### ウガンダでのエボラ出血熱流行 更新

WHO/CSR 2000年10月16日 29日

表. ウガンダにおけるエボラ出血熱の流行状況

日付	患者数 (累計)	死亡数 (累計)
10月16日	71	35
10月17日	81	35
10月18日	94	38
10月19日	111	41
10月20日	122	47
10月21日	139	51
10月22日	149	54
10月23日	160	55
10月24日	165	60
10月25日	176	64
10月26日	182	64
10月27日	191	68
10月28日	205	71
10月29日	211	72

ウガンダ保健省は、エボラ出血熱確認以来の死亡者を含む累計患者数、累計死亡数を左のように報告している(表)。

現在Gulu地区以外での患者は確認されていない。WHOは旅行や貿易に関して、いかなる特別な制限も勧告していない。

### 西ナイルウイルス感染症の流行 - イスラエル

CDC/Travelers' health-outbreaks 2000年10月27日

イスラエル保健省は、過去数カ月間にヒト西ナイルウイルス感染症の発生数増加を確認した。10月27日までに確定診断患者297人と死亡24人を報告した。イスラエル保健省は、ヒト症例が最近増加した原因を確定し、流行を抑制するために調査を続行している。CDCはイスラエル保健省の調査に協力している。



### サウジアラビアおよびイエメンでのリフトバレー熱流行 - 更新

WHO/CSR 2000年10月25日、26日

サウジアラビア保健当局は10月23日までに、死亡者85人を含むリフトバレー熱疑い患者 (suspected) 443人を報告した。

患者と死亡者の発生率は減少傾向を示している。全ての患者はJizanとAsir地方で発生しており、この病気は国の北西地方には広がっていない。

イエメン保健当局は10月19日までに、死亡者80人を含むリフトバレー熱疑い患者 (suspected) 653人を報告した。

4つの自治区( Hodeidah, Hajjah, Mahweet, Sadeh )において、ヒトと動物の両方でリフトバレー熱が検査室検査で確認された。Dhamar自治区では動物で血清学的に病気の存在が証明された。この病気は国の北西地域に限局していたが、南西地域でもリフトバレー熱の感染伝播の兆候が出てきている。Hodeidah自治区のEl-Zuhrah地区では、広範囲に及ぶ活発な媒介蚊抑制対策にも関わらず、根強く流行が続いている。

### 南アフリカのコレラ流行 更新

WHO/CSR 2000年10月27日

2000年10月26日現在Kwazulu-Natal保健当局は、2000年8月中旬から始まった流行で、3,806人の患者と33人の死亡者を報告した。

Kwazulu-Natalでの流行は次の地域で発生している: NgwelezaneとEmpangeniを含むLower Umfolozi地方、Eshowe/Nkandla地域、Durban、KwaDukuza/Stanger地域、JoziniとPort Shepstoneである。



## 感染症の話

(注)今週の感染症の話は41号掲載記事を一部改編して掲載しました。-IDWR編集委員長-

### Bウイルス病

1933年にポリオ研究者がアカゲザルに咬まれ、脳脊髄炎を発症して死亡した。神経組織よりウイルスが分離され、患者の名前にちなみ、Bウイルスと命名された。正式名称はCercopithecine herpesvirus( CHV-1 )であるが、Bウイルス、ヘルペスB、Herpes simiae、Herpesvirus simiaeとも呼ばれる。なお、Cercopithecusとはオナガザルのことである。Bウイルスはニホンザルなどのマカク属サルを自然宿主とし、この宿主では単純疱疹類似の疾患を引き起こし、致死感染は例外的である。しかし、ヒトに感染すると、致命的な疾患( Bウイルス病 )を引き起こす。ニホンザル等との接触の機会を有している場合、注意すべき感染症である。

#### 疫学

本邦での発症例はこれまでのところ報告されていないが、世界的には40例を越しており、おもに米国における発症例である。実際には見落とされている例が多いと考えられる。罹患者の大部分は研究者あるいはサル飼育施設の従業者で、日常の外來診療で遭遇するような疾患ではない。

マカク属サルとの直接的接触により感染する。感染ルートはサルによる咬傷・擦過症が大部分であるが、本症の患者から看護者に感染したという、ヒトからヒトへの感染例も報告されている。

アジアにいるアカゲザル、カニクイザル、日本ザル( *Macaca fuscata* )、台湾ザル( *Macaca cyclopis* )などのマカク属の旧世界サルでは、半数以上が抗体陽性であり、ウイルスは体内に潜伏感染している。ヒトの単純ヘルペスウイルスのように神経節に潜伏し、再活性化することにより感染源となる。サル間では性行為を含めた水平感染により伝播し、幼ザルは抗体陰性であることが多い。



カニクイザル( cynomolgus monkey )

#### 病原体

CHV-1はヒトの単純ヘルペスウイルスと同じアルファヘルペスウイルスに分類され、直径160-180nmの粒子でエンベロープを有する。ウイルス分離にはVero細胞やHeLa細胞が用いられる。25cm<sup>2</sup>のフラスコ程度を使用した少量のウイルス分離はP3レベルの実験室で行うが、大量培養はP4レベルのバイオハザード封じ込め施設で行う。ウイルス増殖は非常に早く、HSVに類似した細胞変性効果( 核内封入体と多核巨細胞 )が生じる。ウイルスは4℃では安定であるが、40℃を越す条件では失活しやすく、また有機溶剤で容易に感染性を喪失する。

#### 臨床症状

唾液等に感染性ウイルスが排出されているサルによる咬傷が主たる感染ルートである。ウイルスが潜伏状態にあるサルの咬傷では感染しない。咬傷後、局所でウイルスが増殖し、末梢神経

を経て、中枢神経組織に到達し、脊髄、延髄、橋と徐々に感染し、横断性脊髄炎、上行性脊髄炎、脳脊髄炎を来す。

これらの病態発生に相応して臨床症状が経時的に現れる( 表 )。潜伏期間は咬傷後早い場合は2日で、2週から5週以内に臨床症状が出現する。

診断上最も重要なことは、実験用あるいは動物園あるいはペットのサルとの接触に関する病歴の入手である。感染経路は咬傷あるいは擦過傷であることが多く、サルに使用した注射針の針刺し、培養に使用したガラス器具による外傷によっても感染する。

詳細に臨床症状が報告されている第1例( 米国例 )の臨床症状を以下に提示する。

医師( B )が実験中に外見上健康なサルにより手の咬傷を受けた。3日後咬傷部の紅斑、リンパ管炎、所属リンパ節腫大が生じた。6日目に発熱、10日目に神経症状( 上行性麻痺 )が出現し、脳脊髄液の単核細胞上昇( 112/mm<sup>3</sup> )、蛋白増加が認められた。外傷部皮膚には水疱も生じた。17日目に痙攣・昏睡状態となり、呼吸不全( 呼吸筋麻痺 )にて死亡した。剖検時、神経系組織には急性横断性脊髄炎と、前頭葉、橋、延髄にも炎症性変化が認められた。

表 Bウイルス病の臨床症状 ( Holmes GP et al. 1995に準拠 )

早期症状	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外傷部位周囲の水疱あるいは潰瘍</li> <li>2. 接触部の激痛あるいは掻痒感</li> <li>3. 所属リンパ節腫大</li> </ol>
中期症状	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発熱</li> <li>2. 接触部の感覚異常</li> <li>3. 接触部側の筋力低下あるいは麻痺</li> <li>4. 結膜炎</li> <li>5. しゃっくり( 吃逆 )の持続</li> </ol>
晚期症状	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 副鼻腔炎</li> <li>2. 項部硬直</li> <li>3. 24時間以上の頭痛</li> <li>4. 悪心・嘔吐</li> <li>5. 脳幹部症状：複視、構語障害、眩暈、失調症、交差性麻痺、交差性知覚障害、脳神経麻痺</li> <li>6. 意識障害</li> <li>7. 脳炎ならびに中枢神経症状</li> </ol>

#### 病原診断

1. ウイルス分離：ウイルス分離が最も信頼できる検査法である。少量サイズの培養細胞を用いたウイルス分離をP3実験室において行う( 国立感染症研究所の規定 )。ウイルス分離を行うための検体は咽頭拭い液、脳脊髄液、サルによる咬傷あるいは擦過部位の拭い液あるいは生検組織である。

2. ウイルスゲノムのPCRによる検出：PCRを用いたウイルスゲノム検出法が報告されている。この場合、近縁のHSVとの区別が問題となる。制限酵素切断様式の違いあるいは塩基配列の解析が必要となる。また、咬傷を加えたサルの検索も行う。

3. 血清抗体の検出: CHV-1はHSVと抗原性が共通する。CHV-1抗体陽性サルの血清はHSVに対する高い中和活性を有している。一方、HSVに対する抗体を有したヒト血清はCHV-1に対しての中和活性がある。この抗原交差性のため、両者の血清学的鑑別は困難である。この区別が可能なドットプロット法が開発され、CHV-1抗体陽性のニホンザルが確認された。簡便法として、スライド上にCHV-1感染細胞を固定・不活化し、抗原抗体反応を行い、抗体を検出する蛍光抗体法がある。この方法ではHSVとCHV-1それぞれに対する抗体の区別は困難で、HSV抗体陽性患者のCHV-1抗体の検出はできない。

4. 剖検時の病理所見として、中枢神経組織の出血、壊死、浮腫、血管周囲の単核細胞浸潤がみられる。Cowdry A型封入体は見だしにくい。感染部位の皮膚・粘膜の生検組織には多核巨細胞が出現し、ウイルスゲノムも検出できる。

#### 治療・予防

症例数が少なく、確立していないが、アシクロビルあるいはガンシクロビルが有効であり、予防・治療にこれらの投与が推奨されている。治療量は体重1kgあたり10-15mgのアシクロビルを8時間ごとに最低14日間静注、さらに、神経症状がみられた場合にはガンシクロビルを体重1kgあたり5mgを12時間ごとに14日間以上投与する。静注終了後、経口投与も考慮する。

患者の外傷部あるいは結膜、唾液からウイルスが分離されることより、治療においては、手袋ならびにマスク、眼鏡等の粘膜部保護が必要である。ヒト-ヒト間の感染例は現在までに1例報告されている。

サルにより咬傷を受けた場合、傷口をできるだけ早く15分以上流水あるいは石鹼水により洗浄する。次亜塩素酸による洗浄を薦める報告もある。結膜の場合は流水あるいは滅菌水を用いる。アシクロビル(成人量800mg)の経口投与も考慮し、その場合、外傷部からのウイルス分離、ウイルスゲノム検出、外傷を加えたサルの抗体検査、サルの唾液、結膜擦過、外陰部擦過にウイルスゲノムが存在するかどうかの解析結果がでるまで投与を続ける。結果が陽性である場合、予防投与は14日間行う。なお、外傷部位の検体採取、患者の血清採取、咬傷を加えたサルのウイルス学的解析ならびに血清の採取は必ず外傷部あるいは曝露粘膜の洗浄後に行う。患者ならびに患者の家族には表に示したBウイルス病の臨床症状を説明し、その兆候が現れた場合の連絡の必要性を指示する。

研究者ならびにサル飼育施設従業者での取り扱い事故の予防について、米国エモリー大学とCDCではワーキンググループを形成し、ガイドラインを発表している(Holmes GP et al. Guidelines for the prevention and treatment of B-virus infections in exposed persons. *Clinical Infectious Diseases* 1995; 20: 421-39)。

ワクチンはない。

#### 感染症法の中でのBウイルス病の取り扱い

Bウイルス病は4類感染症の全数届け出疾患に定められており、本症であることを診断した医師は、診断から7日以内に最寄りの保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は以下の通りとなっている(平成11年3月30日、厚生省結核感染症課長通知)。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出  
例: 臨床検体( 咽頭ぬぐい液、脳脊髄液、咬傷部、擦過部位の生検組織など )からのウイルス分離と中和試験による確認など
- ・病原体遺伝子の検出  
例: PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出  
例: ドットプロット法、ELISA法など  
( ヒトではHSV-1とBウイルスの抗原性は交差するので、従来の抗原抗体反応系( 免疫蛍光等 )は使用できない )

《 備 考 》

外傷部、結膜、唾液からウイルスが分離されることから、これらの部位の治療の際には必ず手袋をする。またマスク、眼鏡等により粘膜を保護する。

( 国立感染症研究所感染病理部 岩崎琢也 )

\*\*\*\*\*

感染症の話は、感染症法に規定された疾患の解説を中心にしてこれまで行ってきましたが、コクシジオイデス症を除いた全疾患についての掲載がこれで終了いたします。

次回からは、食中毒関連病原体、食品媒介寄生虫疾患、などを中心としたシリーズを開始する予定となっております。

なおこれまでに掲載された疾患については、感染症情報センターホームページ IDWR HTML版( <http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html> )「感染症の話」で見ることができます。

感染症週報編集委員長 岡部信彦



## 読者のコーナー

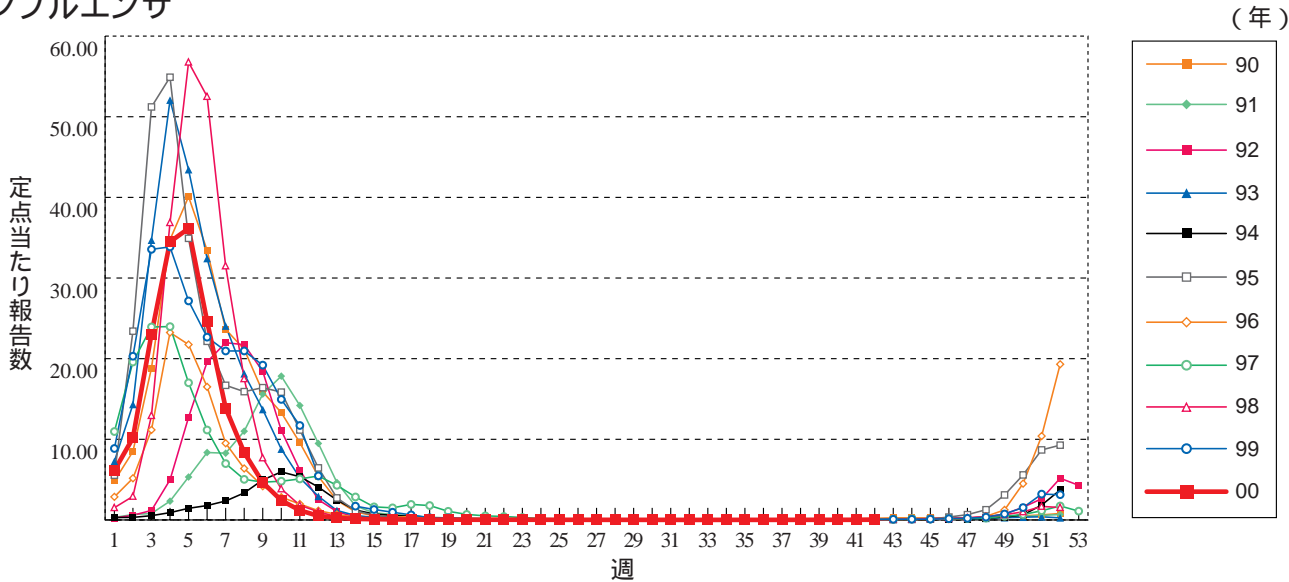
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

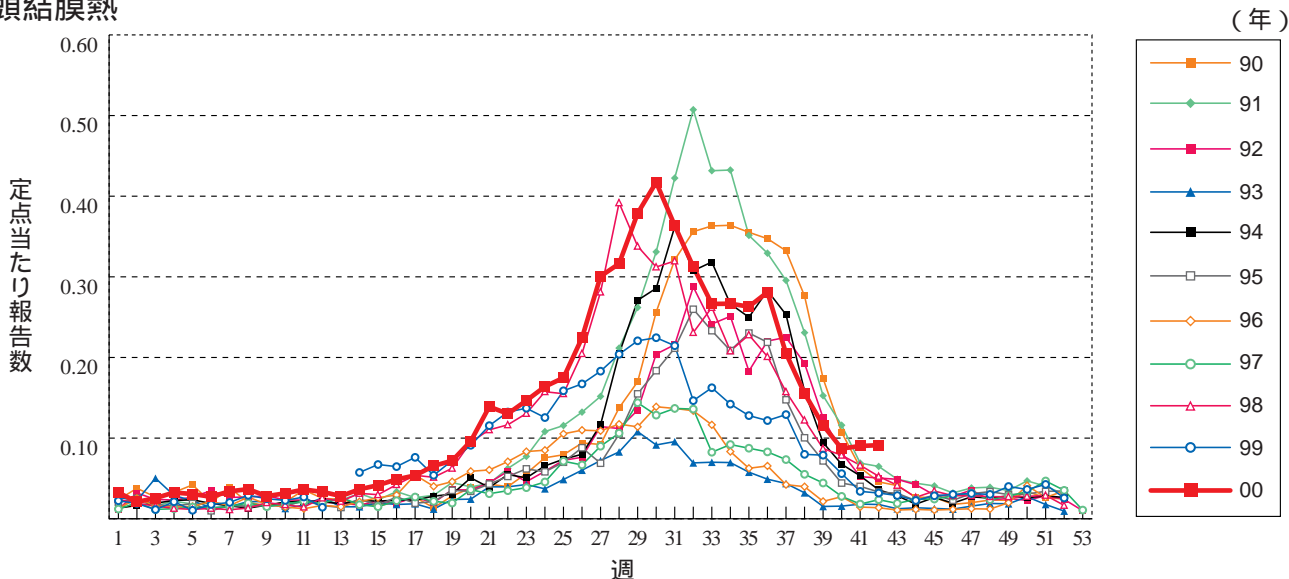


**グラフ総覧(42週)**

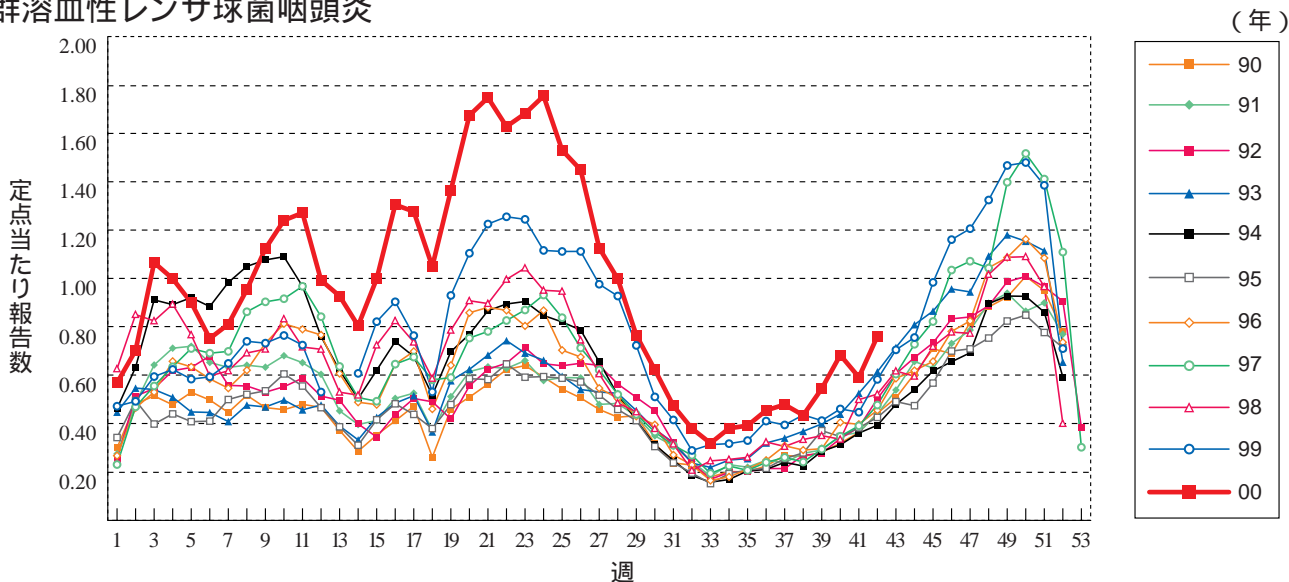
**インフルエンザ**



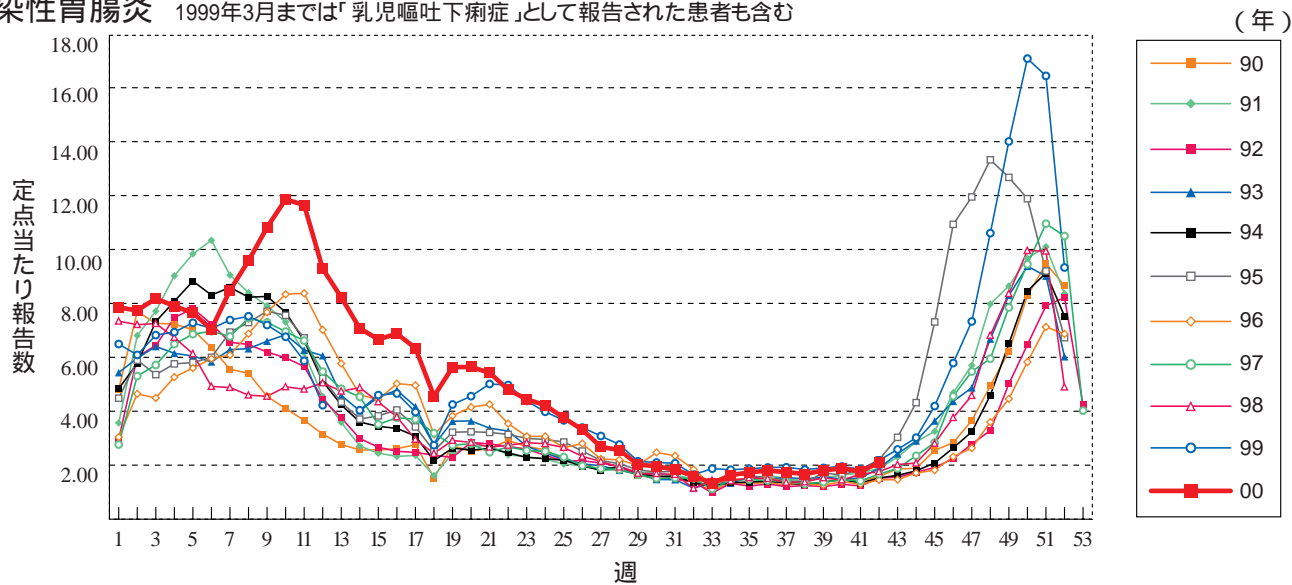
**咽頭結膜熱**



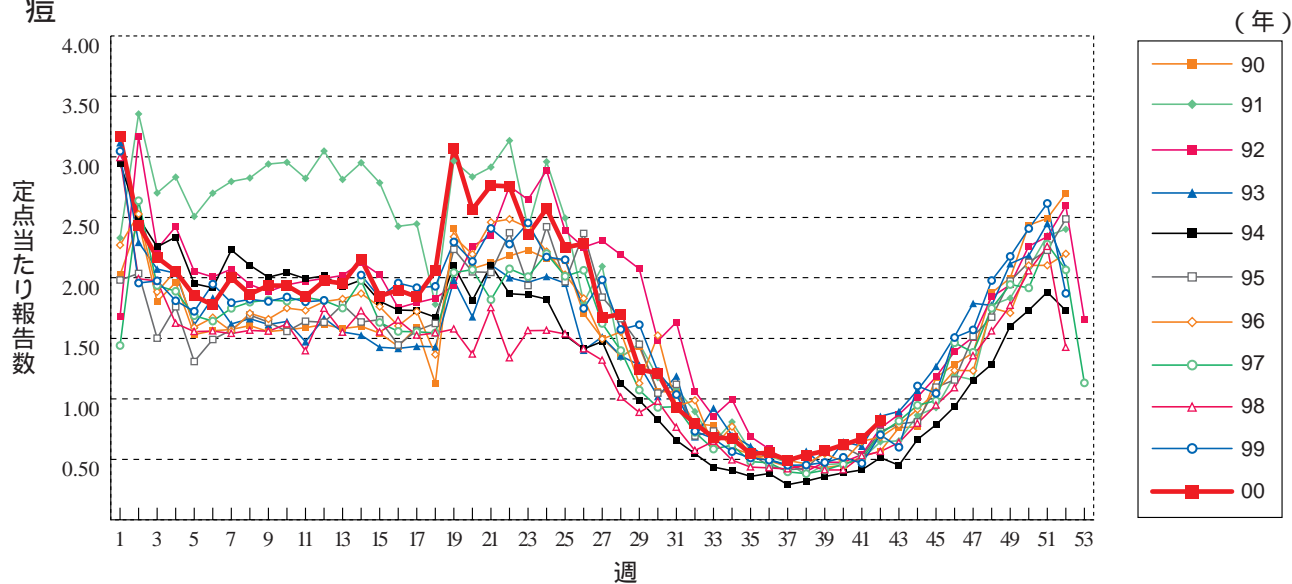
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



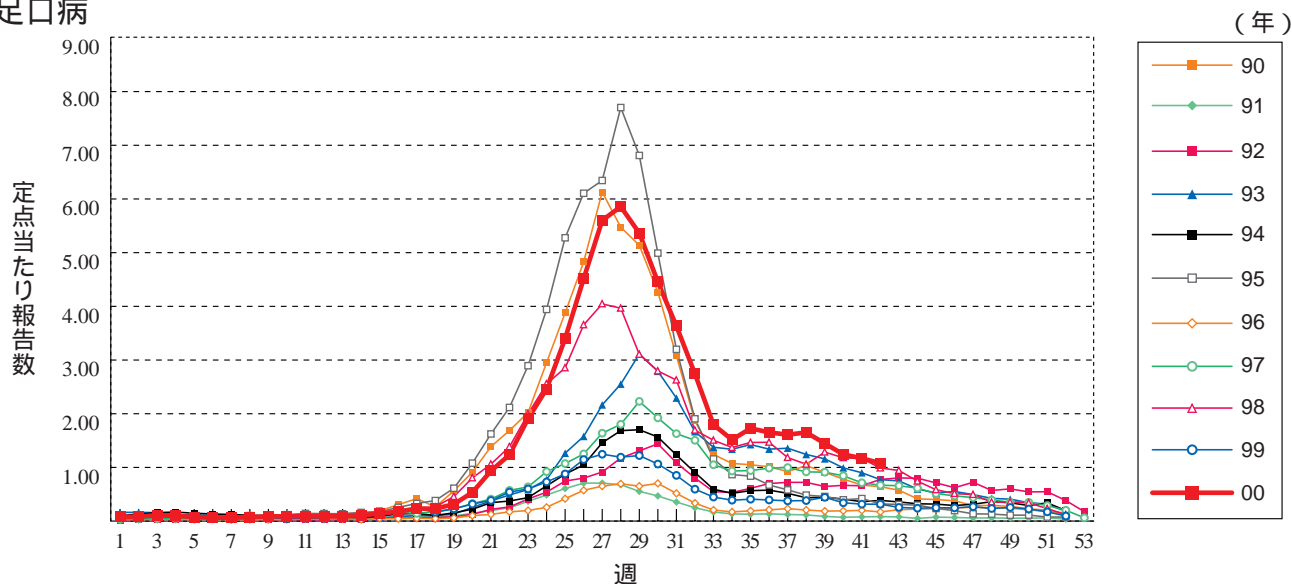
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

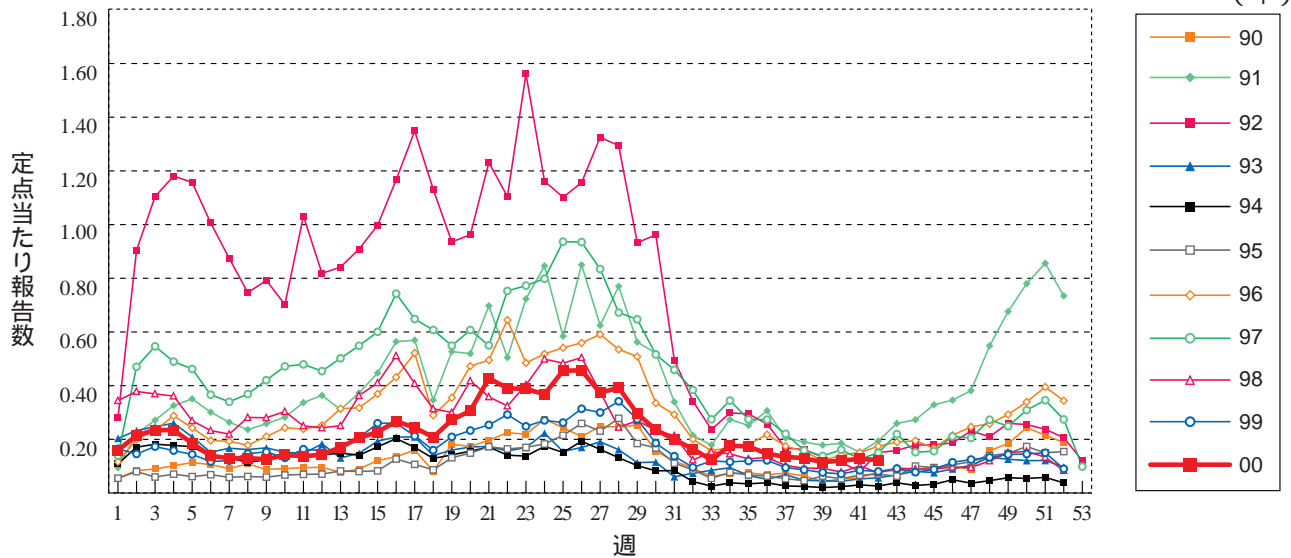


**手足口病**

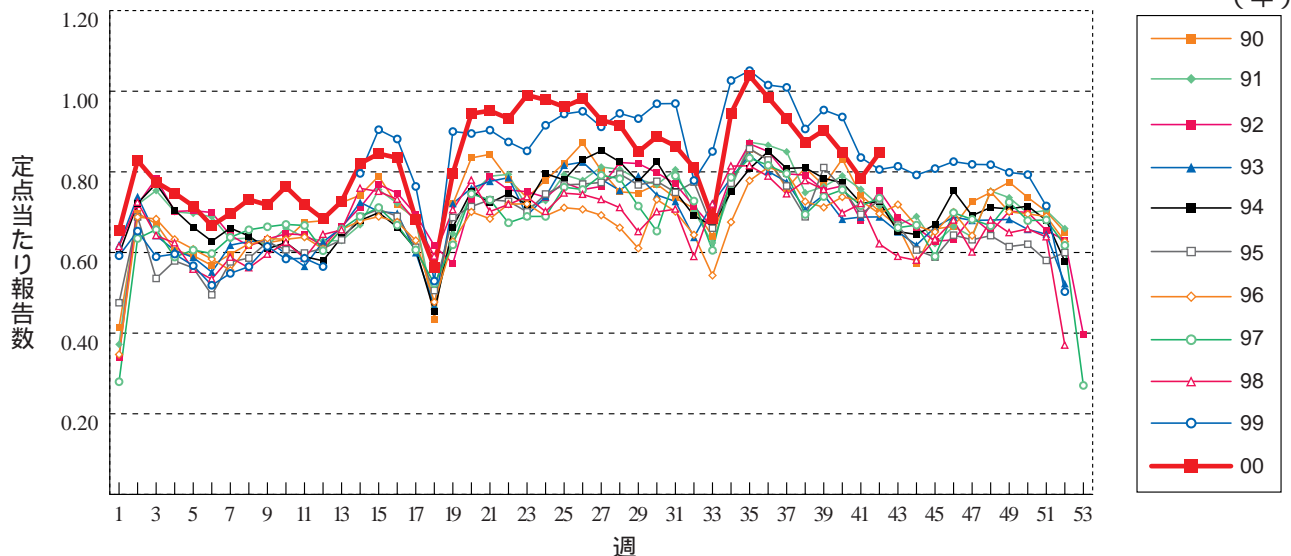




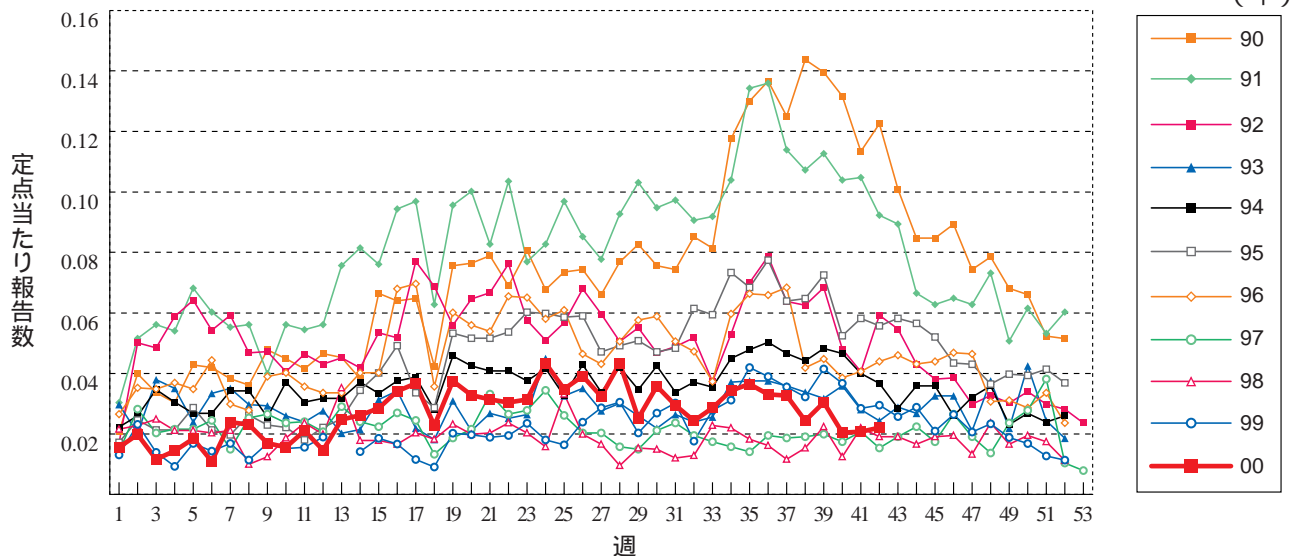
伝染性紅斑



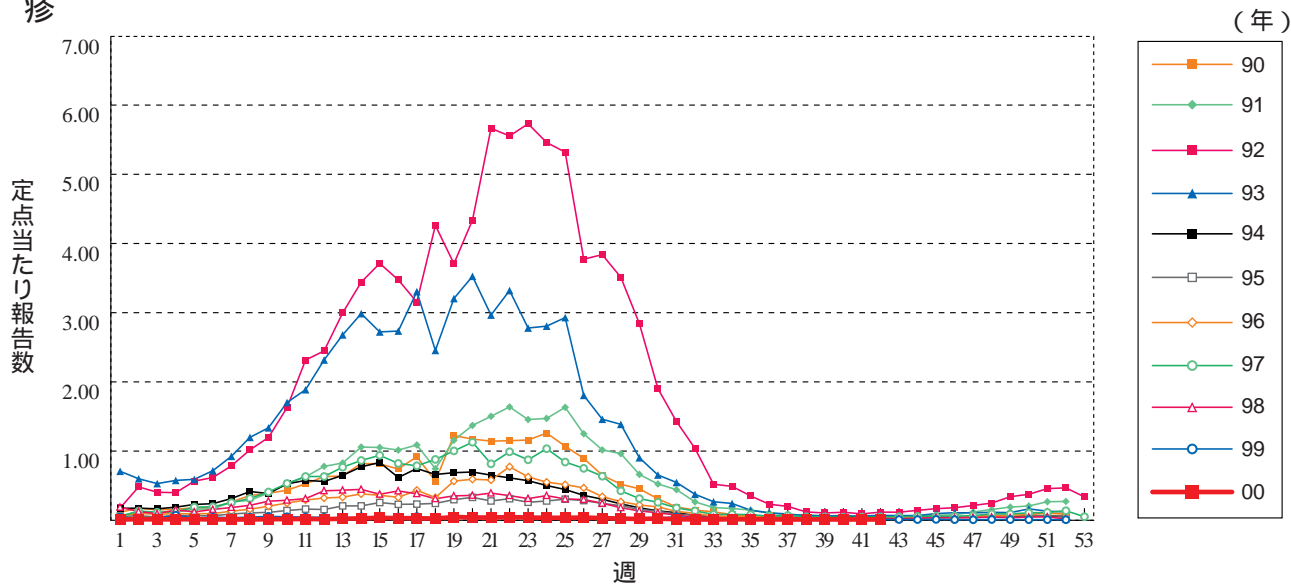
突発性発疹



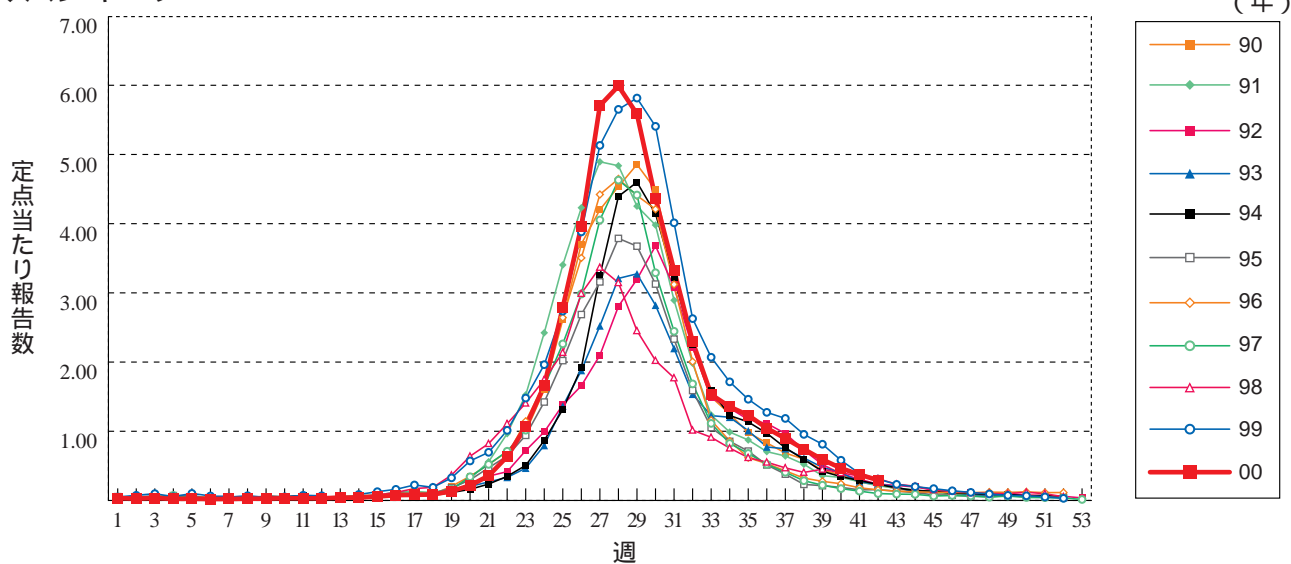
百日咳



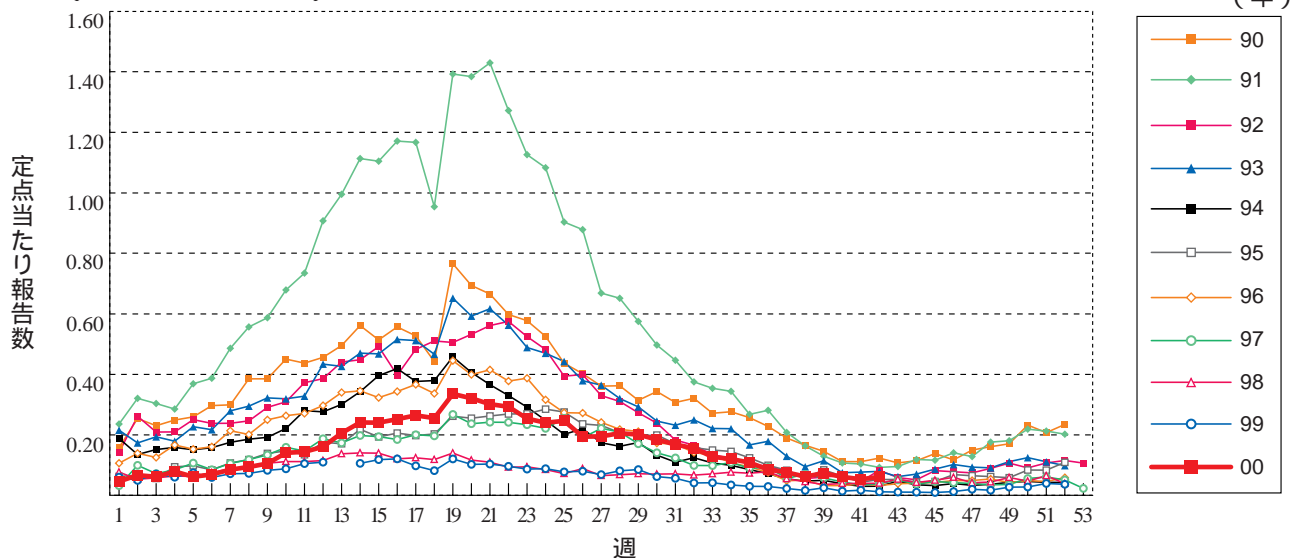
風 疹



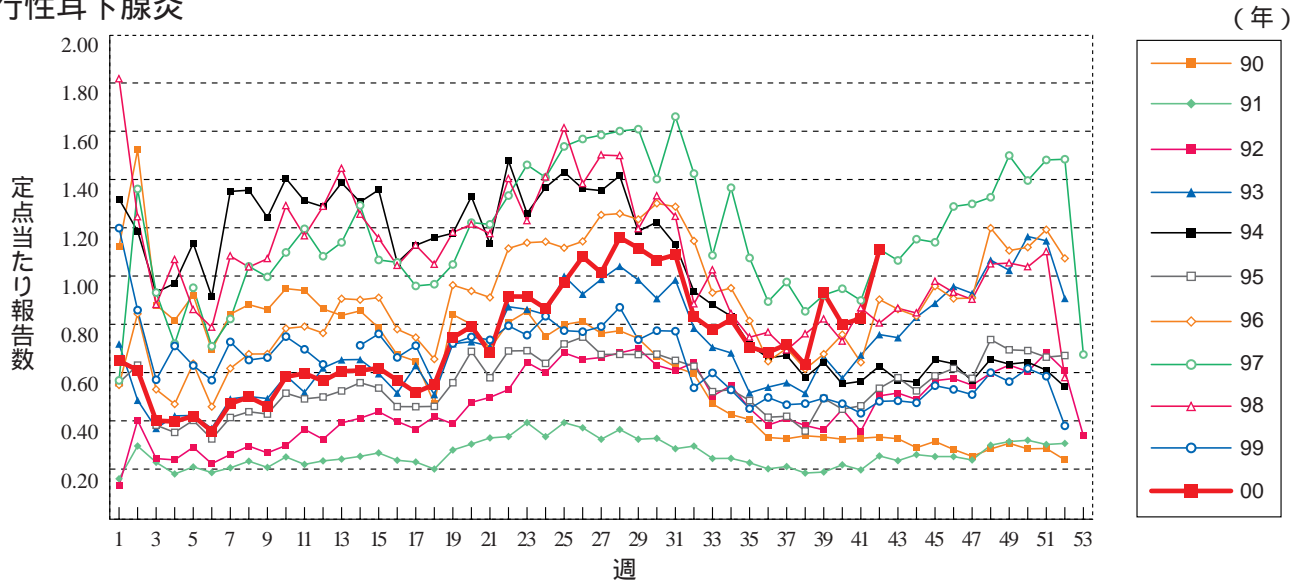
ヘルパンギーナ



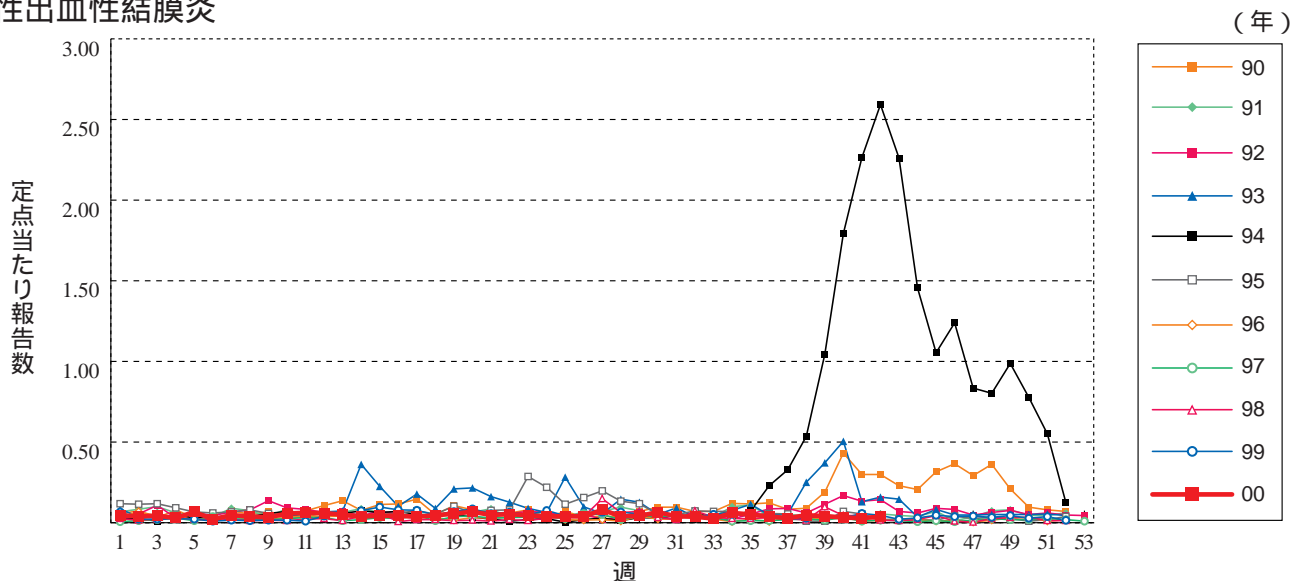
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



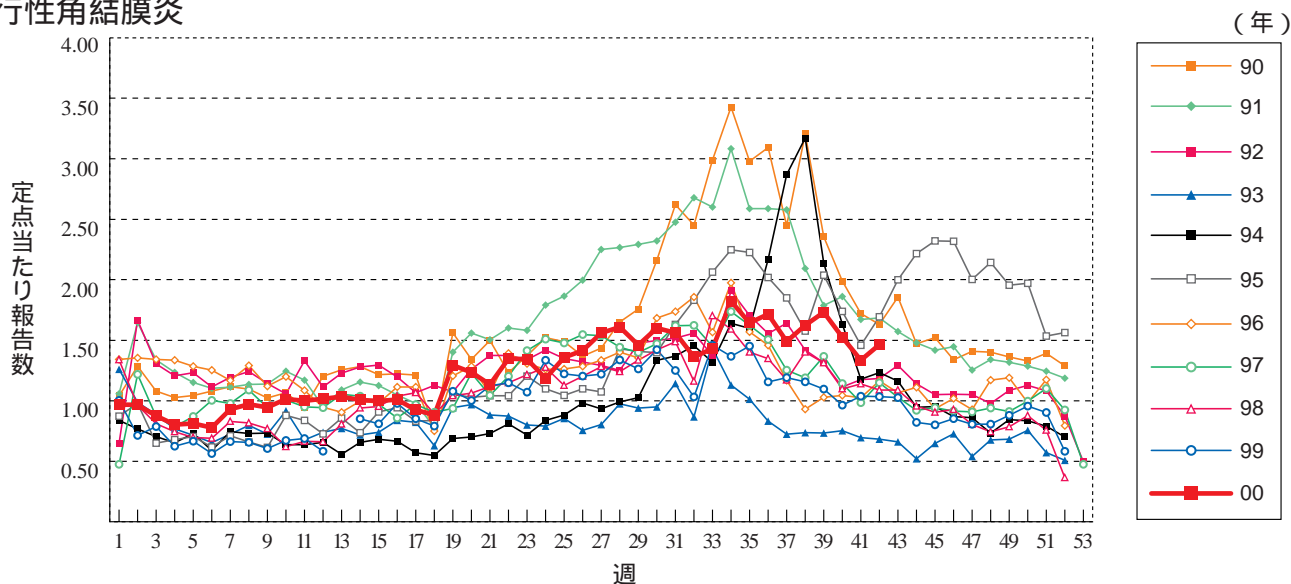
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

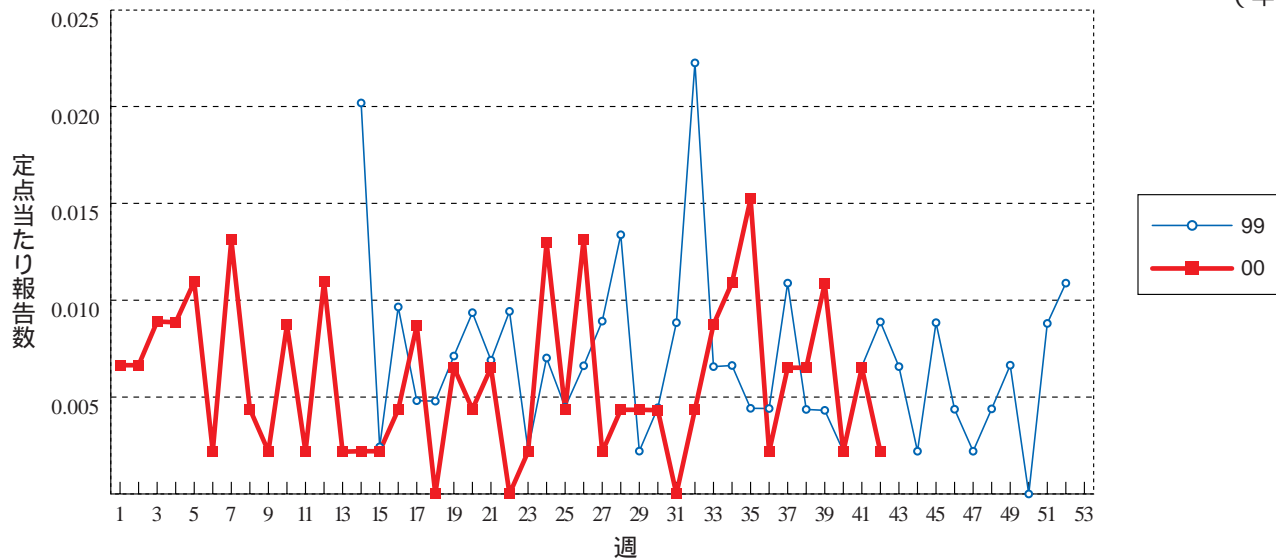


流行性角結膜炎



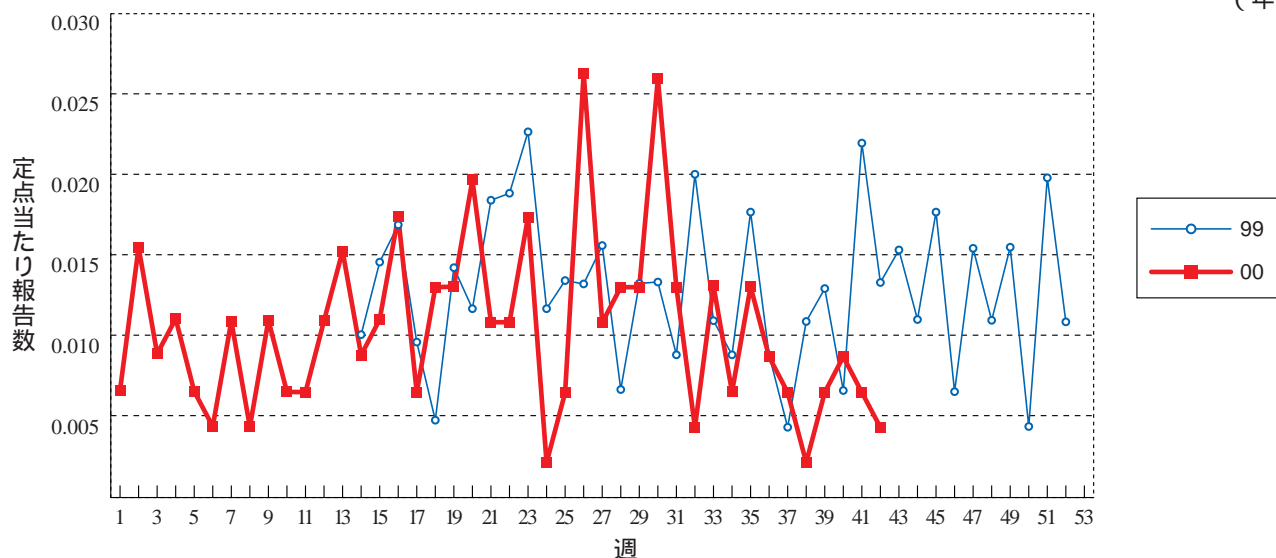
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



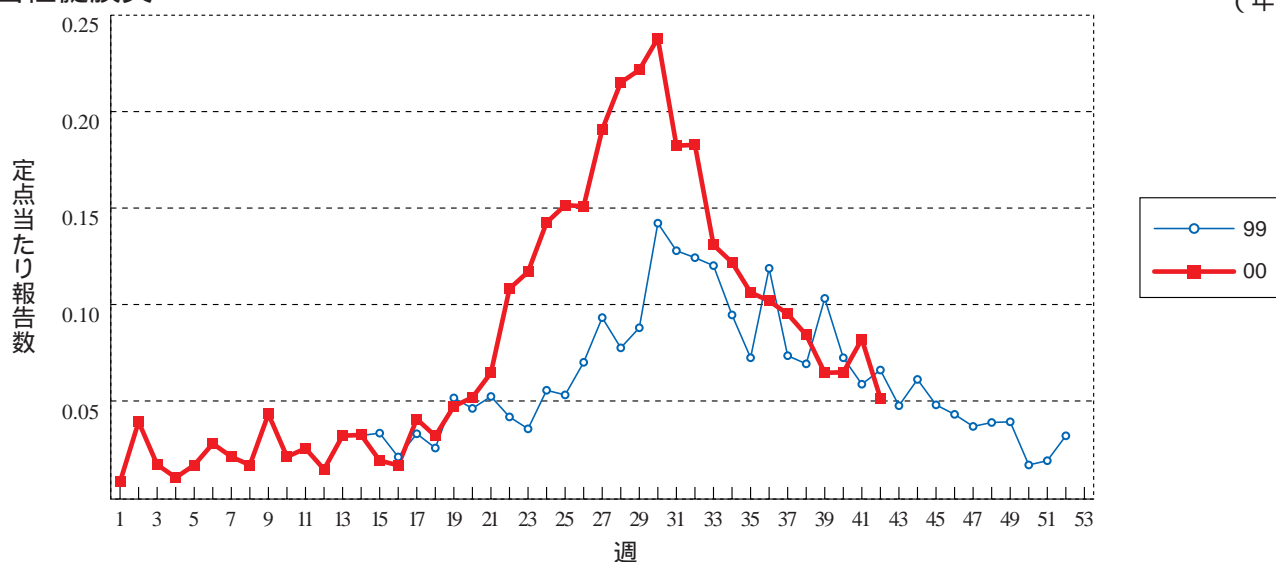
細菌性髄膜炎

(年)



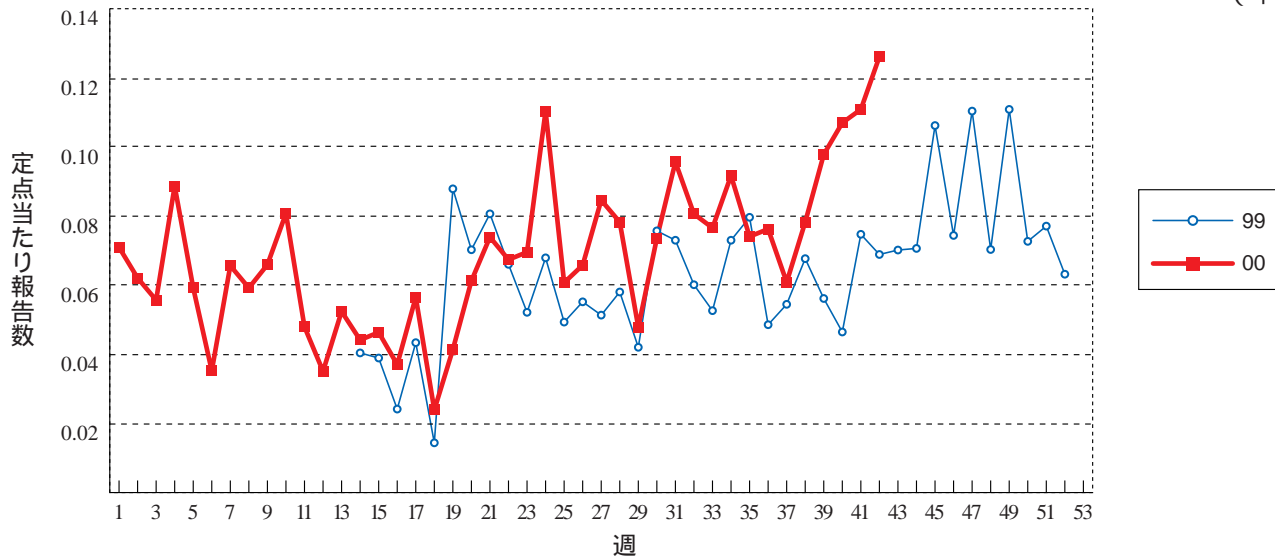
無菌性髄膜炎

(年)



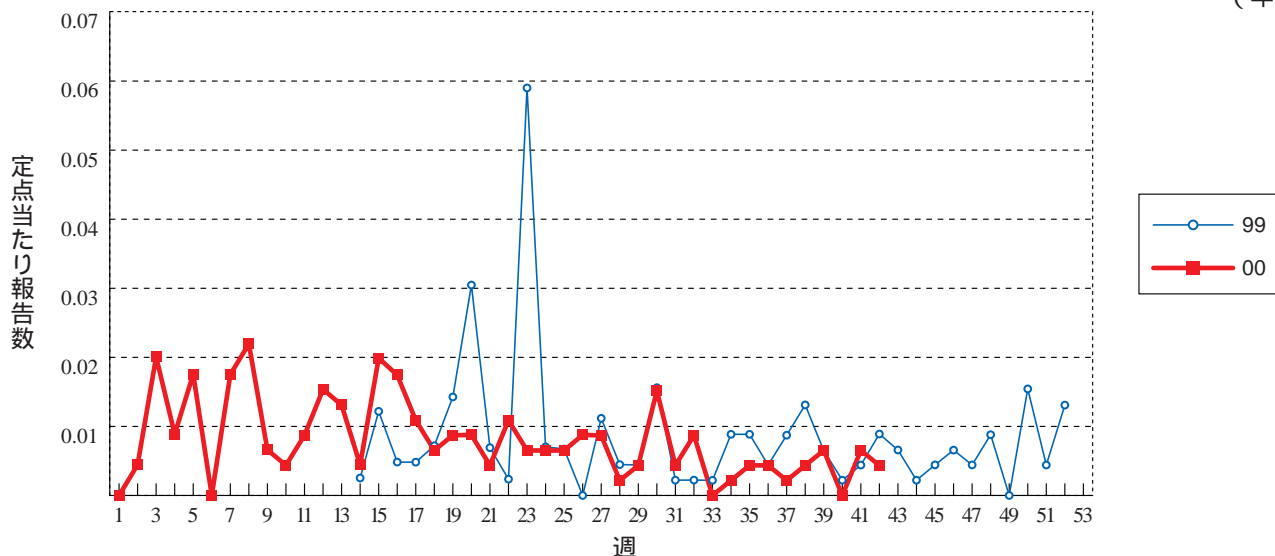
マイコプラズマ肺炎

(年)



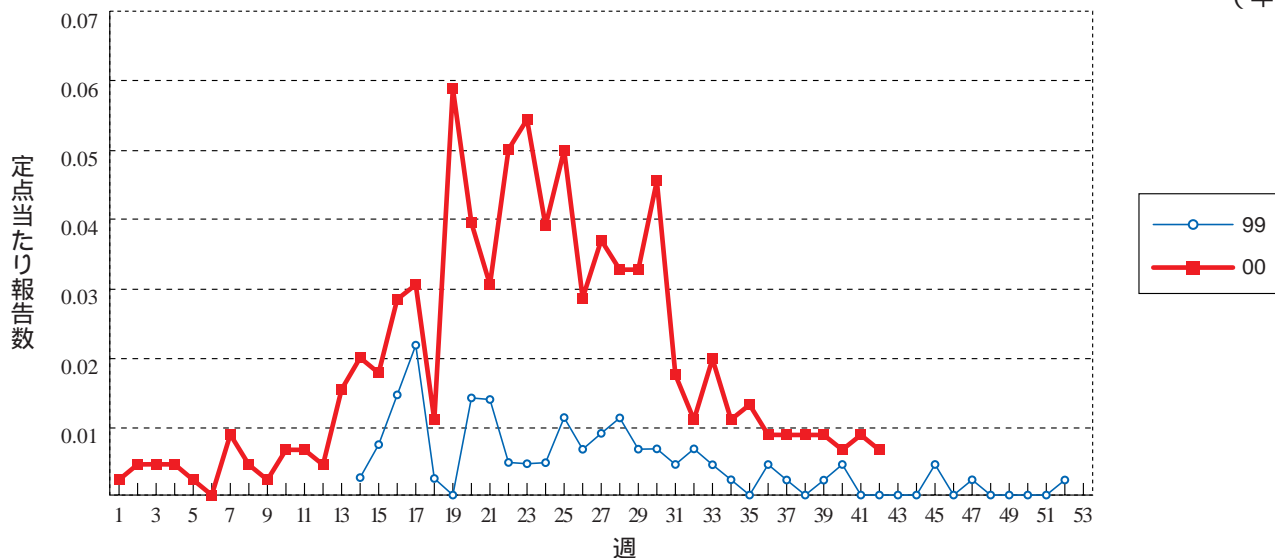
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 4 2週 の データ

注 )表中の報告数は10月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年42週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	48	33	648	1	75	-	17
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	19	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24	-	4	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	123	1	14	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	51	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	19	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	12	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	41	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	20	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	56	-	7	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	7	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	9	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	24	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	30	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年42週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	82	3077	3	296	-	18	-	-	-	14	-	-	7	807
北海道	-	-	-	-	-	89	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	38	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	-	106	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	1	53	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
秋田県	-	-	-	-	1	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	18	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
栃木県	-	-	-	1	1	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	2	86	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	3	93	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
東京都	-	-	-	-	15	268	1	74	-	-	-	-	-	3	-	-	-	87
神奈川県	-	-	-	-	4	154	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	1	19	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	2	48	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	-	26	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	27	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
静岡県	-	-	-	-	-	31	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
愛知県	-	-	-	-	3	202	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	4	45	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	4	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	3	46	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
大阪府	-	-	-	-	5	306	-	47	-	-	-	-	-	1	-	-	-	88
兵庫県	-	-	-	-	7	165	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91
奈良県	-	-	-	-	4	29	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
和歌山県	-	-	-	-	1	36	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鳥取県	-	-	-	-	-	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	7	89	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	29
広島県	-	-	-	-	-	109	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	-	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	22	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福岡県	-	-	-	-	1	286	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
佐賀県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	2	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	4	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	1	-	-	3	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	1	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
沖縄県	-	-	-	-	2	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年42週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	15	-	-	-	3	-	72	-	39	5	604	-	1	-	72	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	39	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	31	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	1	49	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	9	-	4	3	239	-	1	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	37	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	1	17	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	37	-	-	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	5	-	16	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年42週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	-	1	-	-	6	231	-	15	-	23	-	6	-	-	5	598
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	1	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	90
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 104
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	-	36
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	19
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	25	-	-	-	3	-	-	-	-	-	10
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年42週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	76	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	127	-	9	1	126
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
東京都	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	29
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	3
兵庫県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年42週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	139	0.03	273	0.09	2276	0.76	6311	2.11	2444	0.82	3221	1.08	367	0.12	2534	0.85	66	0.02
北海道	-	-	5	0.03	170	1.17	193	1.33	170	1.17	113	0.78	32	0.22	107	0.74	-	-
青森県	-	-	1	0.02	25	0.61	17	0.41	51	1.24	85	2.07	9	0.22	15	0.37	-	-
岩手県	2	0.03	1	0.03	39	1.03	37	0.97	37	0.97	41	1.08	17	0.45	21	0.55	2	0.05
宮城県	-	-	1	0.02	72	1.22	175	2.97	45	0.76	145	2.46	14	0.24	85	1.44	2	0.03
秋田県	-	-	-	-	15	0.43	62	1.77	29	0.83	29	0.83	1	0.03	23	0.66	1	0.03
山形県	1	0.02	1	0.03	22	0.76	47	1.62	79	2.72	49	1.69	10	0.34	32	1.10	1	0.03
福島県	-	-	-	-	22	0.47	148	3.15	30	0.64	97	2.06	3	0.06	47	1.00	2	0.04
茨城県	5	0.05	-	-	43	0.60	127	1.76	60	0.83	88	1.22	2	0.03	43	0.60	1	0.01
栃木県	1	0.01	-	-	24	0.53	47	1.04	33	0.73	76	1.69	2	0.04	40	0.89	-	-
群馬県	1	0.01	1	0.02	56	0.90	131	2.11	46	0.74	16	0.26	9	0.15	51	0.82	2	0.03
埼玉県	20	0.08	12	0.08	165	1.04	387	2.43	112	0.70	138	0.87	23	0.14	150	0.94	3	0.02
千葉県	4	0.02	8	0.06	121	0.95	193	1.51	99	0.77	329	2.57	26	0.20	102	0.80	8	0.06
東京都	3	0.02	6	0.04	47	0.33	293	2.06	60	0.42	114	0.80	23	0.16	89	0.63	1	0.01
神奈川県	30	0.09	8	0.04	104	0.51	356	1.74	156	0.76	77	0.38	29	0.14	181	0.88	1	0.00
新潟県	-	-	9	0.15	103	1.72	125	2.08	62	1.03	88	1.47	9	0.15	61	1.02	2	0.03
富山県	2	0.04	-	-	40	1.38	59	2.03	16	0.55	59	2.03	1	0.03	28	0.97	-	-
石川県	-	-	1	0.03	17	0.59	136	4.69	26	0.90	64	2.21	4	0.14	26	0.90	-	-
福井県	-	-	2	0.10	14	0.67	77	3.67	18	0.86	67	3.19	2	0.10	19	0.90	-	-
山梨県	12	0.29	-	-	10	0.40	27	1.08	7	0.28	54	2.16	4	0.16	6	0.24	-	-
長野県	1	0.01	13	0.25	63	1.21	110	2.12	60	1.15	94	1.81	4	0.08	45	0.87	1	0.02
岐阜県	7	0.08	3	0.06	61	1.15	46	0.87	33	0.62	67	1.26	4	0.08	29	0.55	1	0.02
静岡県	2	0.01	5	0.06	45	0.52	198	2.30	55	0.64	159	1.85	7	0.08	82	0.95	5	0.06
愛知県	4	0.02	1	0.01	118	0.65	303	1.66	156	0.86	249	1.37	28	0.15	160	0.88	4	0.02
三重県	-	-	2	0.04	34	0.76	127	2.82	50	1.11	50	1.11	9	0.20	46	1.02	2	0.04
滋賀県	-	-	1	0.03	28	0.93	53	1.77	16	0.53	29	0.97	-	-	20	0.67	-	-
京都府	4	0.03	2	0.03	37	0.49	209	2.75	50	0.66	40	0.53	8	0.11	58	0.76	2	0.03
大阪府	6	0.02	48	0.25	99	0.52	385	2.02	97	0.51	48	0.25	10	0.05	139	0.73	3	0.02
兵庫県	8	0.04	19	0.14	84	0.63	363	2.73	95	0.71	97	0.73	6	0.05	128	0.96	1	0.01
奈良県	-	-	1	0.03	11	0.31	83	2.37	37	1.06	18	0.51	2	0.06	33	0.94	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	18	0.58	36	1.16	40	1.29	16	0.52	-	-	27	0.87	1	0.03
鳥取県	-	-	2	0.11	99	5.21	92	4.84	15	0.79	51	2.68	-	-	31	1.63	-	-
島根県	-	-	-	-	9	0.39	32	1.39	28	1.22	62	2.70	-	-	10	0.43	-	-
岡山県	1	0.01	14	0.26	47	0.87	129	2.39	28	0.52	44	0.81	2	0.04	38	0.70	-	-
広島県	-	-	9	0.12	81	1.08	184	2.45	55	0.73	58	0.77	8	0.11	61	0.81	4	0.05
山口県	-	-	6	0.12	61	1.24	143	2.92	55	1.12	77	1.57	-	-	59	1.20	2	0.04
徳島県	3	0.08	11	0.48	8	0.35	39	1.70	32	1.39	19	0.83	3	0.13	23	1.00	4	0.17
香川県	-	-	3	0.09	10	0.31	41	1.28	14	0.44	34	1.06	4	0.13	18	0.56	2	0.06
愛媛県	-	-	5	0.13	27	0.69	161	4.13	17	0.44	43	1.10	5	0.13	45	1.15	1	0.03
高知県	-	-	2	0.06	26	0.84	25	0.81	17	0.55	27	0.87	-	-	21	0.68	2	0.06
福岡県	-	-	8	0.10	35	0.44	269	3.41	84	1.06	38	0.48	14	0.18	77	0.97	1	0.01
佐賀県	-	-	-	-	16	0.70	31	1.35	26	1.13	17	0.74	11	0.48	34	1.48	-	-
長崎県	-	-	-	-	13	0.30	90	2.05	36	0.82	23	0.52	-	-	23	0.52	-	-
熊本県	-	-	19	0.39	29	0.59	72	1.47	53	1.08	13	0.27	8	0.16	51	1.04	1	0.02
大分県	-	-	30	0.83	37	1.03	97	2.69	52	1.44	19	0.53	1	0.03	42	1.17	-	-
宮崎県	-	-	6	0.16	35	0.95	168	4.54	34	0.92	63	1.70	10	0.27	46	1.24	-	-
鹿児島県	15	0.15	6	0.10	28	0.47	166	2.77	45	0.75	5	0.08	2	0.03	54	0.90	1	0.02
沖縄県	7	0.12	-	-	8	0.24	22	0.65	28	0.82	32	0.94	1	0.03	8	0.24	2	0.06

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年42週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	880	0.29	182	0.06	3336	1.11	23	0.04	921	1.46	1	0.00	2	0.00	24	0.05
北海道	5	0.03	30	0.21	18	0.12	279	1.92	-	-	31	1.07	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	7	0.17	-	-	45	1.10	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	11	0.29	1	0.03	23	0.61	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	17	0.29	-	-	16	0.27	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	12	0.34	-	-	11	0.31	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	22	0.76	-	-	15	0.52	1	0.13	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	14	0.30	-	-	13	0.28	1	0.08	18	1.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	7	0.10	4	0.06	61	0.85	-	-	61	3.81	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	4	0.09	9	0.20	23	0.51	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	-	-	123	1.98	1	0.07	18	1.29	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	5	0.03	20	0.13	3	0.02	330	2.08	-	-	44	1.22	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	1	0.01	12	0.09	2	0.02	173	1.35	2	0.06	59	1.79	-	-	-	-	-	-
東京都	4	0.03	18	0.13	10	0.07	131	0.92	-	-	32	2.29	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	21	0.10	11	0.05	302	1.47	2	0.05	72	1.71	-	-	1	0.09	1	0.09
新潟県	1	0.02	9	0.15	1	0.02	98	1.63	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	27	0.93	-	-	10	0.34	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	20	0.69	2	0.07	2	0.07	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	15	0.71	-	-	24	1.14	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	5	0.20	3	0.12	2	0.08	7	0.28	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	18	0.35	1	0.02	14	0.27	2	0.20	16	1.60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	0.04	1	0.02	51	0.96	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	44	0.51	1	0.01	170	1.98	-	-	10	0.48	-	-	-	-	3	0.33
愛知県	3	0.02	44	0.24	3	0.02	250	1.37	1	0.03	38	1.09	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	27	0.60	5	0.11	66	1.47	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	1	0.03	-	-	3	0.10	32	1.07	1	0.14	10	1.43	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	12	0.16	2	0.03	68	0.89	-	-	41	2.28	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	-	-	52	0.27	15	0.08	146	0.76	-	-	38	0.73	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	23	0.17	5	0.04	103	0.77	2	0.06	46	1.31	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	5	0.14	7	0.20	29	0.83	-	-	19	2.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	14	0.45	1	0.03	13	0.42	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	5	0.26	-	-	35	1.84	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.40
島根県	-	-	5	0.22	1	0.04	27	1.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.14
岡山県	-	-	10	0.19	6	0.11	17	0.31	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	9	0.12	2	0.03	45	0.60	-	-	25	1.25	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	16	0.33	1	0.02	101	2.06	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	7	0.30	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	24	0.75	-	-	32	1.00	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	62	1.59	1	0.03	23	0.59	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	24	0.77	29	0.94	15	0.48	-	-	5	1.67	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	2	0.03	8	0.10	8	0.10	126	1.59	2	0.11	67	3.72	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	8	0.35	1	0.04	34	1.48	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	14	0.32	1	0.02	31	0.70	5	0.63	30	3.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	13	0.27	2	0.04	135	2.76	2	0.22	27	3.00	-	-	-	-	5	0.33
大分県	-	-	64	1.78	10	0.28	29	0.81	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	84	2.27	1	0.03	16	0.43	-	-	9	2.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	10	0.17	7	0.12	26	0.43	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	8	0.24	5	0.15	9	0.26	-	-	35	3.50	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年42週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	58	0.13	2	0.00	3	0.01
北海道	4	0.17	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	1	0.08	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	2	0.22	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.50	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	3	0.12	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.11	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	1	0.08
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	5	0.83	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	2	0.10	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	1	0.14	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	3	0.43	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第42号 平成12年11月6日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生省保健医療局結核感染症課  
 厚生省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhw.go.jp/>  
 <厚生省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。